

データとその処理技法から追究するエネルギー管理の「最適解」

原単位管理とExcelデータ分析 **応用編**

～“妥当な”原単位管理から“IoT/AI時代”までをカバーするデータ分析技術とは～

主催：一般財団法人省エネルギーセンター

日時：令和2年9月18日(金) 10:00～16:30 場所：新大阪丸ビル・新館500号室

住所：大阪市東淀川区東中島 1-18-27 ※受講生には別途詳細な交通手段をご送付します。

省エネ法「工場等判断基準」の「I 2 エネルギー消費設備等に関する事項」には、BEMS・FEMS(EMS は「エネルギーマネジメントシステム」の略。なおBはBuilding、FはFactoryを指す)に関する記述があります。一見すると、従来より良く知られたキーワードである「見える化」を推奨するものと解釈できますが、その後段「II エネルギーの使用の合理化の目標及び計画的に取り組むべき措置」中、「2 その他エネルギーの使用の合理化に関する事項」(5)では、「IoT・AI等の活用」とEMS とを活用した省エネについて言及があります。エネルギー管理あるいは省エネ推進の「現場視点」で考えますと、このような構成・体系は、今後の省エネを考える意味で様々な示唆を与えています。

その示唆を理解するための基本かつ不可欠な知識が「データ分析」です。本講座では、「データ」および「分析」の実際に着目、原単位等を用いたエネルギー管理を妥当たらしめ、進化させるために必要と思われる統計学的な処理技法および事例などを紹介します。

## カリキュラム

※令和2年3月31日における一部改正による。

講師：一般財団法人 省エネルギーセンター 省エネ支援サービス本部  
人材育成推進部 総括主幹 鈴木 伸隆

10:00～10:05 開講挨拶・事務

10:05～ 第1章 なぜ今「データ分析」なのか ～キーワード：判断基準改定、補助金、原単位～

第2章 回帰分析とエネルギー管理 ～省エネ法への対応も念頭に～

第3章 様々なデータの「分析」手法

第4章 エネルギー管理のための「データ」とは

第5章 「分析」される「データ」から拓かれるエネルギー管理の最適解

～16:30 質疑応答・閉講挨拶

※適宜休憩を挟みます。また講座の進捗状況等により、若干の内容変更があり得ます。

受講対象者(目安)

初級(入門) 中級 上級

## 受講要領

最小開催人数 10名

10名に達しない場合は中止となる可能性があります。

その場合は1週間前までに申込責任者の方へ連絡します。

## 1. 定員

20名 (お早めにお申し込み下さい)。

## 2. 申込み方法

下記の参加申込書に記入後、ファックスにてお申し込みください。

## 3. 受講料(消費税込)

一般：30,550円 賛助会員：24,440円

## 4. 支払い方法

原則として開催日の前日までに下記指定口座にお振り込み下さい。(振込み手数料はご負担願います)

みずほ銀行 梅田支店 (普通口座 No. 1048083)

名義：一般財団法人 省エネルギーセンター 近畿支部

実施1週間以内のキャンセルについては、理由の如何を問わず受講料はご請求させていただきます。代理の方の出席をご検討下さい。

## 5. 申込み/ 問合せ先

一般財団法人省エネルギーセンター 近畿支部 講座担当 TEL:06-6539-7515 kinkikoza@eccj.or.jp

〒550-0013 大阪市西区新町1-13-3 四ツ橋Kビル 8F

講座当日：090-4675-7086

一般財団法人 省エネルギーセンター 近畿支部 行

(切り取らずにFAXして下さい)

## 第12回技術講座“原単位管理とExcelデータ分析 応用編”受講申込書 兼 受講票

【講座日時：令和2年9月18日(金) 10:00～16:30】

申込日：令和2年 月 日

■会社事業所名		□会員 □会員外		申込み受付印
■所在地 〒		■参加料 ( 名分)		
■TEL :		合計¥		■支払予定日 令和2年 月 日
■FAX :		■請求書 (必要な方には郵送します)		
■連絡先氏名		■所属部課名		□必要 □不要
■内線		■E-Mail :		
受付No.	参加者所属部課名	役職	氏名(ふりがな)	

▼ FAX : 06-6539-7370 又は kinkikoza@eccj.or.jp ▼